

第 3 8 7 回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	15番 志村 新一郎	<p>1 青果市場の跡地利用について 青果市場の跡地利用は、後背にある土地開発公社の土地の利用についても白石市にとって大事な問題と思われる。白石市にとって今後の有効な活用はあるのか。</p>	市 長
2	18番 制野 敬一	<p>1 農業振興整備計画の策定について 現在、農業振興整備計画の見直しを実施しているが、今後10年間を見据えて、どんな所に重点をおいて策定しようとしているのか伺いたい。</p> <p>2 観光事業の整備について 高校の跡地を利用した白石城周囲、益岡公園及び駐車場との一体的な整備計画はあるのか伺いたい。</p>	市 長 市 長
3	5番 沼倉 啓介	<p>1 既存企業への本市に対する貢献度合いの評価等の必要性とそれらを加味したうえでの事業の発注等の在り方について 企業誘致が思うように進展しない中で、今必要とされる物事は現在本市で事業展開している企業に対してのサポートとそれらの企業の本市に対する貢献に対する評価である。 それらは事業等の発注等に際しても何らかのポイントとなつての配慮が必要と思われる。 昨今、それらの物事において首を傾けたくなる姿がかいま見られる。 地元及び本市で事業展開している企業に対する本市としての姿勢を問うものであります。</p>	市 長
4	10番 大野 栄光	<p>1 口蹄疫について 4月、宮崎県で発生した口蹄疫、収まる事なく他市へと感染が広がっています。宮崎の畜産農家の方々の犠牲は察するに余りあるものがあります。 これ程まで感染が拡大するとは誰もが予想する事なく、今は一日も早く終息を願うばかりです。当市の畜産農家の人達も心配と不安を抱いております。今回の感染の広がり、発生時に初動態勢の不備も拡大要因の一つと指摘されています。 いかに、発生時に初期の対処が大切かと思われれます。当市に限らず近隣市町も畜産が盛んです。 ただただ今回の様な由々しき事態が起きない事を願いつつ、万が一発生を余儀無くされた場合の農家への対応や対処の在り方、情報等の市長の御所見お尋ね致します。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	4番 吉田 貞子	<p>1 消費者対策について</p> <p>(1) 消費生活相談によせられた主な内容と多重債務問題等の相談件数と金額、恒常的な相談対応の必要性について</p> <p>(2) 県や近隣自治体と連携した予防システムの構築について</p> <p>(3) 消費生活相談員の育成について</p> <p>2 市議会議員選挙について</p> <p>(1) 電子投票と自書式投票のコスト計算を提示いただきコスト面から、来年度の市議選は自書式にする考えはないか（市長の判断として）</p> <p>(2) 立候補者タスキの公費負担についての見解</p> <p>3 広報しろいしのあり方について</p> <p>(1) 広報しろいしの編集方針はどのようなものか。</p> <p>(2) 市民の知りたい情報をわかりやすく、見やすくお知らせするために、必要なことはどんなことと考えるか</p> <p>4 博物館構想について</p> <p>(1) 建物重視でなく、保管場所の確保の面と既存施設を利用した企画展に特化した博物館の考えはないか</p> <p>5 教育振興基本計画について</p> <p>(1) 宮城県の教育振興基本計画にそった市の計画策定の要請や検討はあるのか。県の計画は具体的に当市の教育にどのような影響があるのか。</p>	市長
6	9番 佐久間 儀郎	<p>1 『食育』の取り組みについて</p> <p>食料の大切さと生命の尊さを教育していく『食育』は極めて重要な行政課題と考えます。</p> <p>本市は、食育基本法に基づき昨年12月に食育推進プランを策定しましたが、行政以外にも家庭、保育所・幼稚園、学校、地域、企業、地元農家等が連携し、一体的に食育推進運動に取り組もうとすることが、市民には伝わっていないのではないのでしょうか。そこで、以下の諸点をお尋ねします。</p> <p>1) まず、市長並びに教育長の『食育』についての基本姿勢、ご所信をお聞かせください。2) 平成22年度の施政方針また教育指針を見る限り、本市の『食育』施策は、学校給食の充実、農産物の地産地消に集中しているようですが、そうした理解でよいのか。3) 教育現場での「食」に関する教育は、実際どのように行われているのか。4) 学校栄養職員をどのように活用しているのか。5) 学校給食における、地場産品の利用の状況、県内自治体との比較で利用率はどうか。6) 第一次産業生産現場での体験事業、いわゆる「教育ファーム」にどのように取り組むのか。7) 食育推進プランでの食育推進協議会の構成と活動の実際。8) 今後、どのような手法で市民を巻き込んだ運動にたかめようとしているのか。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	9番 佐久間 儀 郎	<p>2 学校給食費の問題について</p> <p>(1) 学校給食費の未納問題</p> <p>学校給食法第6条第2項においては、運営経費のうち食材費等については保護者が負担すると定められ、学校給食が適切に実施されるためには、保護者の方々に適切に負担していただくことと規定されている。</p> <p>しかし、経済的理由で給食費が払えない保護者がいることは承知しているが、支払能力がありながら給食費を支払わない保護者がおり、各学校や教育委員会が対応に苦慮していることを伝聞します。これは保護者の責任感や規範意識に根ざしている問題です。</p> <p>そこで、本市の実態についてお伺いします。</p> <p>1) 学校給食費の未納問題があるのか。</p> <p>2) もし、未納があるならば、その金額と未納率、そして未納原因をどのように分析しているか。</p> <p>3) 未納対策として、経済的理由で払えない保護者に対するものと支払能力があっても支払わない保護者と、それぞれどのように考えているのか。</p> <p>(2) 小学校の給食費無料化の問題</p> <p>北海道三笠市では、前述した未納問題がきっかけではなく、子育て支援の一環、少子化、人口流出抑制、転入定住人口増加対策として、小学校の給食費を無料化する助成事業をしています。</p> <p>4ヵ年度継続実施し、これまで特殊出生率が高まったとか転入定住人口が増えたといった事業効果は表れていませんが、子育て世代には好評であり、最近他の自治体でも事業化する動きがでてきています。</p> <p>本市は4万人都市復活大作戦において、子育て支援に力を注ぎ、定住人口増を目指しているわけで、ならば、新たな支援策として、子育て世代への給食費助成を検討されてみてはどうかと考えますが、風間市長のご見解を伺います。</p>	市 長 教 育 長
7	2番 管 野 恭 子	<p>1 本市名産の白石温麺に関し、諸視点から次の提案をするが見解を伺う</p> <p>(1) 学校給食への積極的利用</p> <p>(2) (仮称) ”温麺デー” の設定</p> <p>2 市民の健康と本市未来のために次の提案をするが見解を伺う</p> <p>(1) 子宮頸がん予防ワクチン接種への助成</p> <p>(2) 子宮頸がん及び同がん予防に関する正しい知識の普及と予防措置の意識啓発の実施</p> <p>(3) 子宮頸がん及び乳がん無料検診の平成23年度及びそれ以降の継続</p> <p>(4) ヒブワクチン接種への助成</p> <p>(5) 小児用肺炎球菌ワクチンへの助成</p> <p>(6) 子宮頸がん検診において、本市で行っている細胞診と併せて ”前がん病変 ” の発見確率の高い ” H P V検査 ” の実施。</p> <p>3 利便性と収納率アップのために使用料、税等のコンビニエンス支払いを実施すべきと考えるが見解を伺う</p>	教 育 長 市 長 市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	7番 山田裕一	<p>1 子育て環境の充実について 当市では、本年度からこれまで実施されていた14回の妊婦健診助成事業に更に多胎妊婦の方には7回の追加で合計21回の妊婦健診助成事業を始められた。安心して出産できる環境整備を進められていることは大変喜ばしいことである。また更に安心して出産できる環境整備を充実できれば「笑顔溢れるやさしいまち白石」をアピールできることから以下の質問をする。 (1) 赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡し、家庭での絵本の読み聞かせを通し、親子のふれあいを深めてもらうことを目的として平成20年4月より「ブックスタート事業」を開始している。非常に評価できる事業であるが、当市で行っている1歳6ヶ月、2歳6ヶ月、3歳6ヶ月などの乳幼児健診で更にこの事業を拡充してはいかがか。市長の所見を伺う。</p> <p>2 図書館機能の充実について 現在の白石市図書館は、昭和49年落成。以来、現在に至るまで、当市の図書行政の核として市民の生涯学習の場として資料や情報を収集、提供する機能を発揮してきた。平成21年4月より情報センターアテネと一元管理となり、情報センター2Fには絵本コーナーを開設し、利用者の利便性向上に資している。平成20年度と平成21年度の利用者数を単純に比較しても約23%増となっており、今後も市民ニーズに応え施設の利用促進につながることを期待し、質問する。 現在の図書館2F一般閲覧室の一角に個人パソコンを持ち込んで調査や学習できるスペースを確保してはいかがか。所見を伺う。</p> <p>3 教育基本方針と学校教育環境の充実について (1) 宮城県教育振興基本計画(平成22年度～平成31年度)と平成22年度白石市教育基本方針との連動性について伺う。また、当市においても宮城県教育振興基本計画のような長期的な基本計画の策定は考えていないのか。所見を伺う。 (2) 当市小中学校では、洋式トイレを設置していない学校がある。ライフスタイルの変化により、洋式トイレでの生活が当たり前になりつつある現代、児童や生徒から「学校には和式トイレしかないため学校のトイレには入れない。我慢をしている」という話を伺った。生理現象を我慢することは、当然ながら喜ばしいことではない。また、学校生活にも支障をきたすことも考えられる。以上のことから各学校にせめて男女1つつづつでも洋式トイレを設置すべきと考えるがいかがか。所見を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	12番 四 竈 英 夫	<p>1 (株)白石青果地方卸売市場の合併移転後の対応について (株)白石青果地方卸売市場は、8月31日をもって大河原町の(株)宮城県南青果と角田市の(株)角田青果と合併し、大河原に移転することになりました。この市場は、地元農産物の流通の拠点として、大きな役割を果たしてきました。しかし、近年の市場出荷量の減少や景気の低迷等により会社経営が困難となり合併移転せざるを得なくなったことは残念であります。市場が大河原に移転することにより、地元生産農家は大変不便を来すこととなります。また、地元の青果商の方々も、同様に不便を余儀なくされます。よって、こうした不便を少しでも緩和し、農家の生産意欲の低下を防ぐとともに、地元商店の活性化と農産物価格の安定を図ることにより、消費者の家計負担を軽減するため、市場合併移転後の対応をどのように考えておられるか伺います。</p> <p>2 家畜の口蹄疫予防対策について 宮崎県で発生した家畜の伝染病口蹄疫は、猛烈な拡大を見せ地元畜産農家に、甚大な被害と計り知れない精神的負担を及ぼしています。本県においては、現在まで発生はみられておりませんが、いつどのような経路でウイルスが侵入しないとも限りません。仙台空港では旅行者の靴底を消毒するための措置を、6月15日から実施したと報じられました。 本市では事態の重要性に鑑み、いち早く感染防止の消石灰を畜産農家に無料配布されたことは、迅速な対応であり、農家にとって大きな安心感が得られたものと思います。 しかし、未だ流行の終息は宣言されず、不安な日々が続いております。こうした中で本市は、宮城県や家畜保健所、農協、農業共済組合など関係機関とどのような連携をとっておられるのか。また畜産農家の不安を軽減するため、どのような指導や対応をされているのか。今後、感染の絶対阻止を図るため、どのような対策を取られるお考えかお尋ねいたします。</p> <p>3 スポーツ振興のための市民アピールについて 市内の小中高校などが、各種スポーツ大会で優秀な成績を収め、東北大会や全国大会などに出場することが決まった際に、その栄光を称えると共に、上位大会での更なる健闘が図られるよう激励するため、市役所庁舎など市の施設を利用して、懸垂幕を掲げるなど、広く市民へのアピールをしてはどうか。 そうすることにより、一般市民にも広く周知が図られ、出場選手にとっても、モチベーションを高めることになると思われる。 スポーツ振興を掲げる本市の施策にも呼応するものとして、懸垂幕の掲揚に取り組むお考えがないか伺います。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	3番 水落孝子	<p>3 平和市長会議と平和教育について</p> <p>21世紀に入り、アメリカのオバマ大統領が就任直後プラハでの核兵器をなくしていこうとの演説を行ったことはご存知のとおりですが、核兵器廃絶は世界の流れになってきています。毎年広島・長崎に向けて、平和大行進がこの白石市も通ることから、行進の最後に中央公園をお借りして、おかげさまで集会も開催できていますし、賛同の署名も白石市長・市議会議長よりいただいているところです。</p> <p>(1) 1歩進んで国連NGOとして登録されている「平和市長会議」に参加できたら良いと考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>現在白石市では、オーストラリア・ハーストビル市と国際交流をしていますが、この交流を始めるにあたり、強固に反対する意見があり、当時の日本の教育の問題が浮き彫りになった経験を聞いています。あらためて、教育の重要性を痛感しました。そこで、</p> <p>(2) 小・中学生を対象に平和教育の一環として、平和交流をしている自治体もあることから、白石市でも検討に値するのではないかと考えますが、所見を伺います。</p>	市長
11	1番 沼倉昭仁	<p>1 「実効性のある改善計画」の議会への説明について</p> <p>風間市長は、今年の2月議会のなかで、</p> <p>(1) 6月までに刈田病院の実効性のある改善計画を議会に提出する。</p> <p>(2) 今後、赤字補填が生じる場合、事前にその原因と改善策を議会に提出する。</p> <p>と「答弁」した。</p> <p>「実効性のある計画」を作成するには、旧来の「病院改革プラン」をもう一度精査し、そこにある問題点を引き出し、その背景事情やデータも含めて分析・解析する作業が欠かせないと思われるが、旧来の「改革プラン」をいかに総括したのか。</p> <p>旧来の「改革プラン」の問題点としては、</p> <p>(1) 宮城県の「地域医療再生計画」が策定されたにもかかわらず刈田病院が県南中核病院とともに仙南医療圏の中核的病院であるとの従来からの枠組みのなかでの改革プランであること</p> <p>(2) 医師数が平成23年度末までには大幅に増員される予定であること</p> <p>(3) 平成22年度の経常損益が10億円を超える「計画」となっていること</p> <p>の3点があげられる。</p> <p>「改革プラン」策定以降、宮城県の「地域医療再生計画」など仙南医療圏を取り巻く医療事情が大きく変動するなかで、「実効性のある計画」を作成するために、旧来の「改革プラン」をどのように総括し、「修正改革プラン」では、そこにある問題点をどのように修正したのか。</p> <p>「修正改革プラン」の議会への「説明」を求める。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
12	8番 安 斎 多実男	<p>1 観光施策について</p> <p>(1) 観光と商圏の繋がりについて 戦国武将ブームにより、片倉小十郎を活用した施策により、多くの若い女性の観光客が訪れ急増しておりますが、訪れる観光客は、歴史を目的としており、白石城・霊廟・武家屋敷等の白石市中心市街の西部に偏りが見られ、商圏がある東部に通年観光を目的とした施策は考えられないか伺います。</p> <p>(2) 観光を受け入れる本市として、JR東北本線白石駅にある「小十郎プラザ」、白石蔵王駅には、観光案内所が設置されているが、モータリゼーションの進展により、車による観光客が増大しておりますが観光案内の対応はどのように考えているか伺います。</p> <p>(3) 現在急速に発展して、瞬時に情報を提供出来、多くの顧客を呼ぶ、デジタルサイネージを本市に設置出来ないか伺います。</p>	市長